

広島県歯科医師連盟通信 VOL.9

日本歯科医師連盟 第108回臨時評議員会開催さる！！ —「組織内候補は擁立しない」ことを機関決定—

11月20日（金）午後1時から、日本歯科医師会館において、日本歯科医師連盟第108回臨時評議員会が開催された。

当日は、評議員75名が出席（欠席2名）の下、堤会長から「衆議院選挙や次期参議院選挙の方向性を十二分に示すことができず反省しており、全国会員にお詫び申しあげる。次期診療報酬改定については、歯科界の要望が実現するよう尽力しており、民主党にも衆議院議員2名、参議院議員2名の歯科医師がおり、この方々のご協力もあって少しずつ進んでいる。」要旨の挨拶があつた。

来賓挨拶、国会報告、会務報告に続いて、「次期参議院比例代表選挙における今後の具体的取り組みの件」が議案上程され、来年7月の次期参議院比例代表選挙での対応に関し、執行部が提案した「組織内単一候補を擁立しての選挙は行わない」旨の議案を賛成の举手多数で可決、確定した。

また、新たな政権与党となった民主党から「次期参議院比例代表選挙で歯科医師の候補者を立候補させたい」との提案があつた場合は、会員の意向を踏まえた上で「与党候補として支援する」方向で対応することになった。

これは、次期参議院比例代表選挙では、歯科の組織代表候補が存在しないということを正式に決定したということで、日歯連盟と全国47都道府県歯連盟に後援会組織を作り、行っていた選挙準備並びに活動は行わないとのことである。